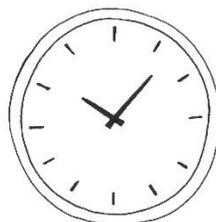


芸閣

～図書館だより～

第3号
2022年6月
桐蔭図書館発行

芸閣...「うんかく」と読みます。
書庫、書斎という意味です。
(「芸」は書籍に挿む虫除けの香草)



時の記念日

6月10日は時の記念日と定められています。これは、671年4月25日に天智天皇が「漏刻」と呼ばれる水時計を建造し、はじめて太鼓や鐘の音によって時刻を人々に知らせたという「日本書紀」の言い伝えに基づいています。その日を現在の太陽暦に換算すると6月10日であったため、同日に定められたようです。

図書局員が書店に行って本を選んできました

5月20日、待ちに待ったテスト最終日、図書局員たちによる選書が行われました。午後1時、今すぐ帰って寝たいほどの疲労感と開放感のなかでしたが、そこは図書局員、本への溢れる愛で見事たくさん素晴らしい本を選び抜きました。そのなかでも私が皆様に是非、手にとってほしい画集があります。

それがこちら！ 『秘密』（アボガド6 著）
名前だけなら知っている人も多いと思います。Twitterでちょくちょくバズって流れてくるイラストを見たことがあるかもしれません。文字数が足りないので詳しくは書けませんが、思春期の皆様には感じるものが多大にあるかと思われます。是非、手にとって見てください。（3年女子）



新しく入った本の紹介

日本の小説

- 『ひまわりは恋の形』 宇山佳祐 著 小学館
『らんたん』 柚木麻子 著 小学館
『世界は「 」で沈んでいく』 櫻いいよ 著 PHP研究所
『親愛なるあなたへ』 カンザキイオリ 著 河出書房新社
『さよならの空はあの青い花の輝きと良く似ていた』 みあ 著 幻冬舎
『夢をかなえるソウ O』 水野敬也 著 文響社
『ぎょらん』 町田そのこ 著 新潮社
『10文字ホラー 1』 氏田雄介 編 星海社
『境遇』 湊かなえ 著 双葉社
『憧れの作家は人間じゃありませんでした 3』 津村御影 著 KADOKAWA
『恋に至る病』 斜線堂有紀 著 KADOKAWA
『シンデレラ・ティース』 坂木司 著 光文社
『夏の体温』 瀬尾まいこ 著 双葉社

図書館員が
書店へ行って
選んだ本です



その他いろいろ

- 『ミニマリスト スマホの中を片付ける』 飯島綾香 著 KADOKAWA
『一緒にいると楽しい人、疲れる人』 有川真由美 著 PHP研究所
『かみはこんなにくちゃくちゃだけど』 ヨシタケシンスケ 著 白泉社
『天皇家の恋愛 明治天皇から眞子内親王まで』 森暢平 著 中央公論新社
『「鬼滅の刃」で心理分析できる本』 清田予紀 著 三笠書房
『「自分メディア」はこう作る!』 ちきりん 著 文藝春秋
『データサイエンスが解く邪馬台国』 安本美典 著 朝日新聞出版
『人は聞き方が9割』 永松茂久 著 すばる舎
『お金の本 死ぬまでお金に困らない!』 ひろゆき 著 興陽館
『東京幻想作品集』 東京幻想 著 芸術新聞社
『我慢して生きるほど人生は長くない』 鈴木裕介 著 アスコム
『図解身近にあふれる「微分・積分」が3時間でわかる本』 狭川遥 著 明日香出版社
『JK、インドで常識ぶっ壊される』 熊谷はるか 著 河出書房新社
『「義経」愚将論』 海上知明 著 徳間書店
『面白くて眠れなくなる元素』 左巻健男 著 PHP研究所
『笑う数学』 日本お笑い数学協会 著 KADOKAWA

ほかにも
たくさん
あるよ

